

# 柿ジャムが返礼品に

東雲高 畑地区の催しで収穫

畑地区のみたけの里づくり協議会が10月に実施した、サルの出没を抑制するイベント「さる×はた合戦」で収穫された柿を、篠山東雲高校の生徒が加工したジャムが、丹

波篠山市のふるさと納税の返礼品に加わった。

加工後の色がオレンジ色になる富有柿のみを選び、1瓶(150g)に数個を使うという。注文を受けてから生徒たちが冷凍保存された柿を煮詰めて瓶詰めしている。寄

付額1万円で、柿ジャムのほか、畑地区産の黒



市のふるさと納税の返礼品として取り扱いが始まった、篠山東雲高校が製造した柿ジャムなど=丹波篠山市福住で

豆、同校内で採れた栗を使ったジャム3種2瓶ずつを送る。限定50セット。製品化に関わったフード・インスティテュート

類型の2年生(11人)、同校(079・557・通して、獣害問題や『さる×はた合戦』、柿加工品のおいしさを知ってもらえたら』と話していた。市内の人は、ふるさと納税の返礼品がもらえるので、在庫があれば、

さん(篠山中出身)は「たき(篠山中出身)は「たきさんの人に柿ジャムを

0039)では  
る。各ジャム共  
00円。

2023年12月28日  
丹波新聞